

北海道新聞 自治体PR・地方創生関連ご案内

「訓子府町 開町100周年 町制施行70年 記念企画」

全道版の朝刊紙面にて「開町100周年」を発信

新型コロナウイルス感染拡大により、北海道訓子府町の開町100周年の記念イベントは次々と中止になりましたが、2020年11月1日に予定していた記念式典は、かろうじて規模を縮小して開催することが決定。そこで、訓子府町に働きかけをさせていただき、「コロナ禍でも訓子府町は元気です！と、町民をはじめ、町とゆかりのある道内在住者にも伝えよう」という企画趣旨が同町の賛同を得ました。

企画紙面は、背景に農村風景と子どもたちの笑顔を盛り込み、左上に町長挨拶、右下に同町企画財政課企画係の発案で2016（平成28）年から使用しているキャッチコピー「ちょっといいね！が、たくさんあるまち」とその内容をコンパクトにまとめました。下5段は地元企業限定でご案内をし、全16社から紙面協賛をいただきました。

23 (全道広告) 2020年(令和2年)11月1日(日曜) 北海道新聞

新聞紙面記事のスクリーンショット。見出し「新たな未来への飛躍を誓って」があり、町長挨拶と「ちょっといいね！が、たくさんあるまち」というキャッチコピーが特徴的。背景には農村風景と子どもたちの笑顔が写っている。

2020年11月1日の朝刊全道版に掲載。反響は、次の通りでした。

同町によると、ふるさとおもいやり寄付(ふるさと納税)の件数が、前年比で3倍以上も伸びました(前年11月1日～15日までが79件のところ、2020年の11月1日～15日までの間に248件)。

また、同町のホームページへのアクセス数は、通常の2倍に伸びました(アクセス数の推移は、10月30日が743件、31日が785件、掲載日の11月1日が1,356件、2日が1,645件)。

さらに、掲載日に記念式典のため出勤していた同町職員は、同町出身で札幌圏在住の方から「今日の新聞を見ました。節目の年だったんだね。おめでとう」という電話も受けられたとのこと。

Kunneppu Town 100th Anniversary 訓子府町開町100周年・町制施行70年

協賛企業リスト。丸建工業株式会社、久島工業株式会社、訓子府石灰工業株式会社、坂井商店、谷山新聞販売所など16社のロゴと連絡先が掲載されている。

掲載翌日の11月2日には、北見市内でJR石北線周辺の自治体でつくるオホーツク圏活性化期成会石北本線部会と上川地方総合開発期成会の合同会議が開かれました。この会議に出席していた町長は、多くの首長から「昨日の北海道新聞に、開町100周年と大きく出ていたね」と声をかけられたとのこと。

(北見支社営業部 岸 学)

(2020年11月1日 朝刊 全道版 全15段)